

## 中山道後期第7回区間記録

2013年11月12日～13日（1泊2日）

御嵩駅→各務ヶ原駅（御嵩宿→伏見宿→太田宿→鵜沼宿）

世話人 土田 建二（昭36 文）

倉藤 康（昭41 工）（記）

1-1：11月12日（火） 晴のち曇 歩行距離 14.2 km 43人

1-2： **行動記録** 10：00 御嵩駅出発→みたけ館、願興寺、愚溪寺見学→12：00 和食萩（昼食）  
13：00→鬼の首塚、比衣一里塚跡→14：25 伏見宿脇本陣跡（公民館）14：40→  
15：30 スーパー・トップワン 15：45→16：10 御門町（本日の中山道終点）→16：  
30 ルートイン美濃加茂（泊）17：40→かも川茶寮うを完（夕食）

1-3： **区間概要・エピソード**

- \* 今回は初日早朝に横須賀線が人身事故で止まるというアクシデントがあり、所定の新幹線に乗れない人が7名出た。しかしながらその後の適切な行動により、4名が名古屋駅で合流でき、残る3名も願興寺見学後に本隊に合流できた。
- \* 御嵩駅では予定していなかったボランティア渡辺さん（元県立東濃実業高校教頭）や名鉄広見線活性化協議会の廣瀬さんと出会い、みたけ館へ向かった。渡辺さんはみたけ館の大脇学芸員の岳父とのことで、願興寺、愚溪寺で説明をしていただいた。また廣瀬さんには、機関紙（？）に載せる集合写真を撮られるというハプニングがあった。
- \* みたけ館では2階の民俗資料館を大脇学芸員の案内で見学した。原始から現代までの御嵩町の紹介がされていた。平安時代の歌人和泉式部と在原行平の伝説、江戸時代の御嵩宿の繁栄を偲ばせるジオラマ、明治維新の亜炭の産出など興味深いものであった。
- \* 願興寺（蟹薬師）は平安時代（815年）創建といわれる古刹だが、現在の本堂は400年以上前に再建されたもので、そろそろ建て替えなければということになっているとのこと。本堂及び本尊の薬師如来坐像は国の重要文化財に指定されている。
- \* 愚溪寺は1396年創建の臨済宗のお寺で、京都の竜安寺の石庭の原型といわれる美しい庭園（臥竜石庭）がある。許可を得て、2007年に新築された本堂へ上がりご本尊を拝観した。檀家数700と聴くが、大変立派なお寺であった。
- \* 和食萩での昼食後は、鬼の首塚、比衣一里塚跡を経て伏見宿脇本陣跡（現公民館）で休憩。ここへも前出の廣瀬さんが出てきて、いろいろ話をしてくれた。伏見宿は当時としては珍獣のラクダが逗留したというのが有名ならしい。
- \* 伏見宿から本日の終点（中山道歩き）までは旧中山道の一部継承する国道21号線を歩いた。1時間ほど歩いてスーパー・トップワンで休憩。気温が低いのでアイスクリームより、鯛焼きを買う人が多かった。
- \* 木曾川を渡る太田橋の手前の今渡・渡し場跡公園で小休止。橋を渡った右側に日本ライン下りの乗船場が見えるが、経営上の問題で今は休止中という。
- \* 橋を渡った御門町交差点で中山道とは別れ、ホテルルートイン美濃加茂に16:30頃到着。
- \* 夕食は送迎バスで、かも川茶寮うを完へ。本年最後の歩く会ということで忘年会も兼ねてやや高価なものとした。午後から別行動をしていた金子さんから、明日通行予定のうとう峠が通行可能との報が入り、この場で皆様に報告できてよかった。

2-1: 11月13日(水) 快晴・微風 歩行距離 15.8 km 42人

2-2: 行動記録

ホテルルートイン美濃加茂 7:50→8:10 御門町交差点→8:50 祐泉寺→9:50 太田宿中山道会館 10:10→11:30 日本料理正膳(昼食) 12:30→12:50 岩屋観音→13:20 うとう峠入口→13:45 森の交流館 14:00→14:30 鶯沼宿町屋館他 15:10→15:50 各務ヶ原駅

2-3: 区間概要・エピソード

- \* 恒例の体操の後、ホテルを出発。御門町交差点に戻り、化石林公園を歩いて木曾川沿いを歩く。ちょうど30年前の昭和58年に木曾川が氾濫し、一帯は冠水したとのことで高い堤防ができた。旧中山道はこの堤防に沿って通っているが、堤防上の道がウォーキング道路になっており気持ちが良いのでこちらを進んだ。
- \* 30分ほど歩いて堤防を降り、太田宿の町並みを歩いて祐泉寺に到着。ここから4班に分かれ、ボランティアの水口さんほか3名による宿場や脇本陣、本陣門などの説明を聞きながら太田宿中山道会館に向かった。
- \* 中山道会館ではNPO法人の佐光さんから会館の展示の説明、シンボルとなっている宿木やヒレンジャックの話聞いた。予想されたことだがだいぶ時間オーバーとなった。
- \* 再び堤防の上を進む。しばらく行くと旧中山道は国道21号線と合流することになるが、この堤防の道(日本ラインロマンチック街道)は国道と並行し、昼食場所付近まで続いているので、木曾川の風景を楽しみながらこちらを進んだ。
- \* 昼食をとった坂祝には大きな食堂がなく、皆様に窮屈な思いをさせましたが、皆様の寛容と店主の三品さんの頑張りで何とか乗り切れたと感謝しています。大阪で修業したとのことで、関西風の薄味でした。
- \* 午後は推古天皇の時代に勧請されたという岩屋観音を拝観後、11月度唯一の上りのうとう峠へ。うとう峠はこの期間、工事中で通行不可とのアナウンスがされていたが、市及び工事会社と調整の結果、自己責任を条件に通行を黙認するということになった。下見時には工事会社の部長がエスコートしてくれた。ルート確認の結果、大雨の後、あるいは当日が雨の場合は危険と判断し、別スケジュールも作成したが、幸い数日にわたりよい天候で無事通行できた。
- \* うとう峠の一里塚を過ぎ、頂上の「森の交流館」で一休みした後、鶯沼宿へ。2班に分かれてボランティアに鶯沼宿町屋館、再建された脇本陣、江戸時代の建物である茗荷屋などの説明を受けた。茗荷屋のご当主梅田さんが松尾会員の高校の同級生ということで、内部の一部も見学できたのは幸いでした。その後は一目散にJR各務ヶ原へ向かい、無事所定の電車で帰途に就いた。お疲れ様でした。

3. まとめ

- \* うとう峠を除きほぼフラットで、天候にも恵まれ歩きやすいコースでした。
- \* 今回の会費は単身参加者14,000円、夫婦参加者27,000円でした。